

平成27年度 土木学会 西部支部沖繩会総会

日時：平成27年 7月15日(水) 16時40分～17時10分

場所：那覇市厚生会館

議事次第

進行：事務局

1. 会長からのあいさつ

2. 審議内容

【第1号議案】

平成26年度報告（案）

- | | | |
|-------------------|-------|----|
| ① 平成26年度 事業報告（案） | ————— | 1 |
| ② 平成26年度 収支決算書（案） | ————— | 16 |

【第2号議案】

平成27年度事業（案）

- | | | |
|--------------------|-------|----|
| ① 平成27年度 主要事業計画（案） | ————— | 18 |
| ② 平成27年度 予算書（案） | ————— | 22 |

3. その他

【参考資料】

- | | | |
|-----------------------------|-------|----|
| 参考 1 土木学会西部支部 沖繩会 規約 | ————— | 23 |
| “ 2 土木学会会員（フェロー・正会員・学生会員）名簿 | ————— | 28 |
| “ 3 沖繩会特別会員B名簿 | ————— | 30 |
| “ 4 土木学会西部支部沖繩会役員名簿（平成27年度） | ————— | 31 |

平成26年度 事業報告(案)

1. 沖縄会運営委員会 (H26.7.14) 那覇市おもろまち 那覇市厚生会館 参加:17名(委任状含む)
2. 沖縄会定期総会 (H26.7.14) 那覇市おもろまち 那覇市厚生会館 参加:46名(委任状含む)
3. 講演会等の開催
 - ① 講演会『トルコ150年の夢 アジアとヨーロッパを結ぶ海峡横断鉄道の建設』(H26.4.25)
【主催:沖縄会】
場 所:那覇市おもろまち 沖縄県立博物館・美術館
参加者:沖縄工業高校生(108名)、琉球大学環境建設工学科(土木)学生(58名)、一般(33名)
内 容:①ボスポラス海峡トンネル工事の施工について
②億首ダム工事におけるICT施工について
 - ② 講演会『「行動する技術者たちセミナー」～沖縄で育む「行動する技術者」～』(H27.1.15)
【主催:沖縄会、共催:土木学会 行動する技術者たち小委員会】
場 所:那覇市おもろまち 沖縄県立博物館・美術館
参加者:110名
内 容:①講演 沖縄の土木技術者への期待
②トークセッション 土木技術者に求められること
4. 技術研究発表会等
 - ① 土木学会西部支部沖縄会 第4回技術研究発表会 (H26.10.30) 参加:60名
【主催:沖縄会】
場 所:西原町 琉球大学 研究者交流会館・50周年記念会館
5. 広報活動
 - ①「橋の日」清掃活動 (H26.8.6) 県道那覇内環状線「那覇大橋(那覇市)」清掃活動 参加:100名
【主催:沖縄会、共催:琉球大学工学部環境建設工学科、琉球大学土木同窓会、内閣府沖縄総合事務局開発建設部、沖縄県土木建築部琉大工学部土木学生及び土木同窓会、沖総局開発部】
 - ② 土木の日シンポジウム『「観光客一千万人到来にむけて」～それを支える社会基盤～』(H26.11.19)
【主催:沖縄の土木技術を世界に発信する会】
場 所:那覇市 パレット市民劇場
参加者:約280名
6. ホームページの管理、運営
 - ・ホームページ開設 (H23.9.27)
 - ・講習会の開催等に合わせて適宜情報発信
【 <http://www.jsce-oki.tec.u-ryukyu.ac.jp/index.html> 】

7. その他

1 幹事会

- ① 第一回幹事会 (H26.5.20) 沖縄総合事務局 (1F) 参加者：15名
- ② 第二回幹事会 (H26.9.9) 沖縄県庁 (11F) 参加者：15名

2 土木学会西部支部 研究発表会の支援【沖縄会】 (H27.3.7)

【主催：土木学会西部支部】

場 所：西原町 琉球大学 千原キャンパス

参加者：約580名

開催プログラム等【 <http://www.jsce-okl.tec.u-ryukyu.ac.jp/index.html> 】

トルコ150年の夢

アジアとヨーロッパを結ぶ海峡横断鉄道の建設

～トルコ・ボスポラス海峡横断トンネルプロジェクト～

《 講演者 》

大成建設（株） 小山 文男，江田 正敏

会場 沖縄県立 博物館美術館 **日時** 平成26年 4月25日（金）
（講堂：定員200名）

第1部 【開場】 13:00 / 【講演】 13:30～14:30 (60分)

- 内 容：ボスポラス海峡トンネル工事の施工について
- 対象者：高校生（110名） / 一般（但し、CPDSなし / 参加料：無料）
[沖縄県立 沖縄工業高校]

第2部 【開場】 14:45 / 【講演】 15:00～17:00 (120分)

- 内 容：① ボスポラス海峡トンネル工事の施工について
② 億首ダム工事におけるICT施工について
- 対象者：大学生（70名） / 一般（CPDS 2unit） / CPDS不要の方：参加無料
[琉球大学] 【参加料】 会員：¥2,000 / 非会員：¥7,000

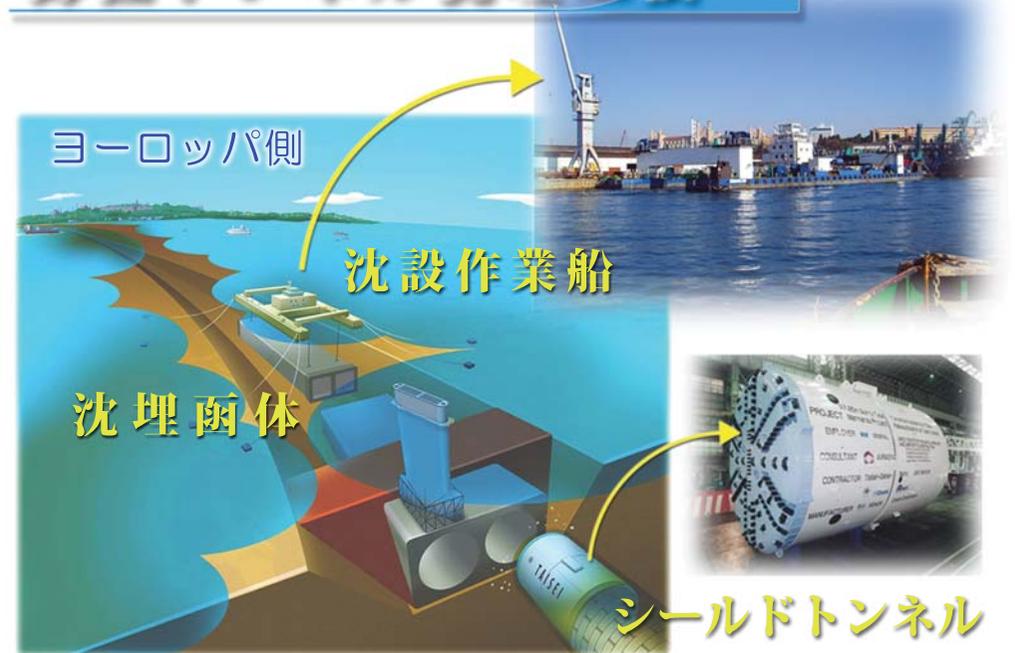
主催：土木学会 西部支部 沖縄会 <http://www.jsce-oki.tec.u-ryukyu.ac.jp/index.html>

お問合せ：一般社団法人 沖縄しまたて協会 TEL：098-897-2091

平成26年4月25日（金）沖縄県立博物館美術館



海低トンネル沈埋工法



土木学会 西部支部 沖縄会 主催

行動する技術者たちセミナー

～沖縄で育む「行動する技術者」～

主催:土木学会 西部支部 沖縄会
共催:土木学会 行動する技術者たち小委員会
日時:平成 27 年 1 月 15 日(木曜日)
場所:沖縄県立博物館・美術館 3 階(講堂)

○プログラム

14:00 開 会

14:00～14:05 主催者挨拶

公益社団法人 土木学会西部支部沖縄会会長(沖縄総合事務局 次長) みざわ たかし 尾澤 卓思

14:05～15:00

講演 「沖縄の土木技術者への期待」

政策研究大学院大学
アカデミックフェロー

もりち しげる
森地 茂

1966 年 日本国有鉄道入社
1987 年 東京工業大学工学部土木工学科 教授
2002 年 東京工業大学 名誉教授
2004 年 政策研究大学院大学 教授
運輸政策研究所 所長
東京大学 名誉教授
2009 年 政策研究大学院大学 特別教授
2014 年 政策研究大学院大学 アカデミックフェロー
2004 年～2010 年 国土審議会 委員 他多数
2004 年～2005 年 土木学会 会長 他多数
専門:国土政策、交通政策、社会基盤政策、地域政策



15:00～15:15

土木学会「行動する技術者たち小委員会」活動紹介

福山市立大学 都市経営学部 教授

(行動する技術者たち小委員会幹事長)

わたなべ かずなり
渡邊 一成

15:15～15:25 休 憩

15:25～16:40 トークセッション

16:40 閉 会

トークセッション ～土木技術者に求められること～ セッション進行

(独)土木研究所 研究調整監 (行動する技術者たち小委員会委員長)

つかだ ゆきひろ
塚田 幸広

パネリスト

琉球大学工学部 建設工学科 准教授

しもざと てつひろ
下里 哲弘

一般財団法人 計量計画研究所 企画部 技術営業部長

すずき のりかず
鈴木 紀一

内閣府派遣 宜野湾市 駐留軍用跡地利用プロジェクトマネージャー

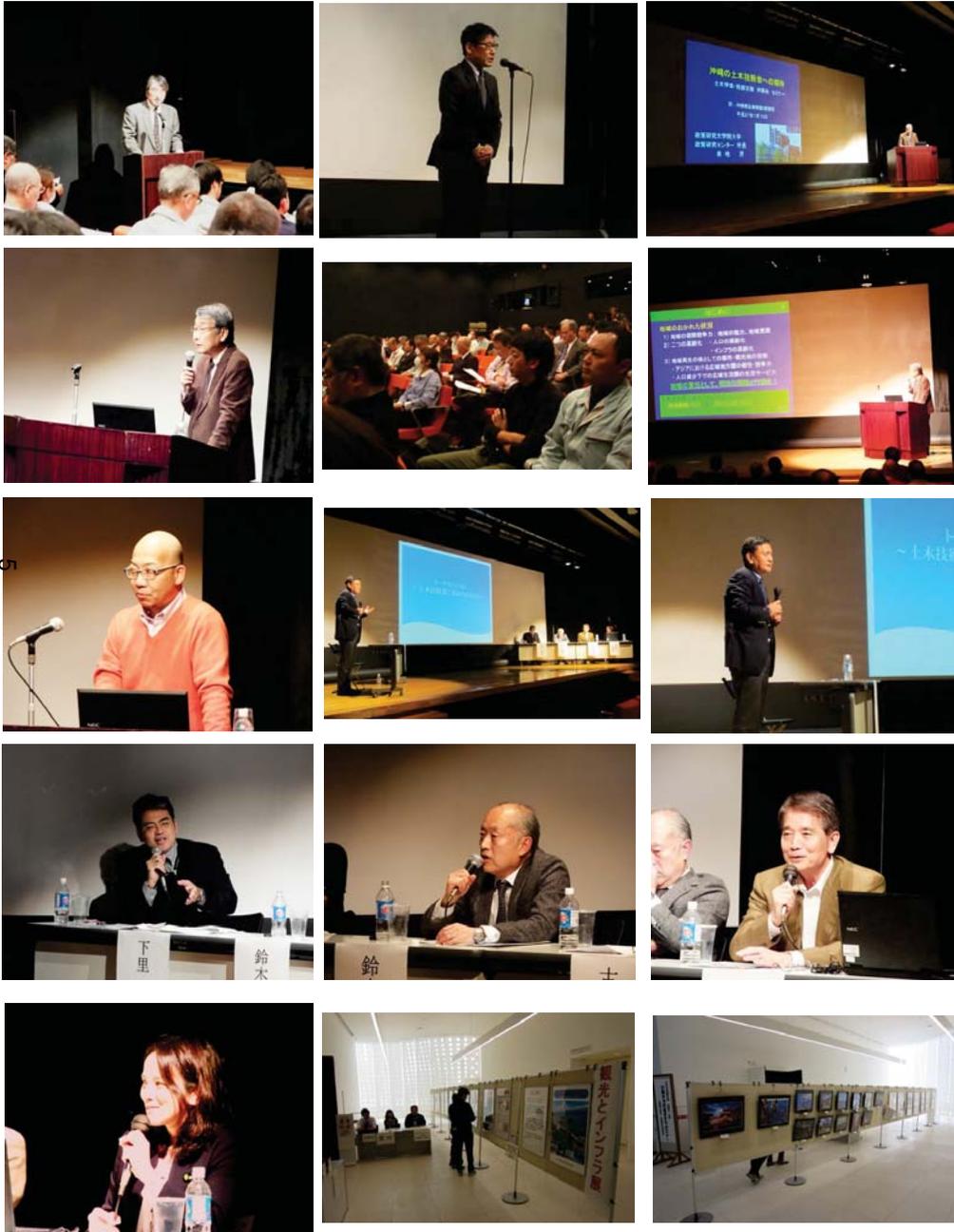
こはくろ けん
古波蔵 健

沖縄県土木建築部 技術管理課 技術管理班 主任技師

とかしき まりこ
渡嘉敷 真理子

行動する技術者たちセミナー ～沖縄で育む「行動する技術者」～

開催風景



土木学会西部支部沖縄会
第4回 技術研究発表会

○ 琉球大学 研究者交流会館・50周年記念会館

2014年10月30日

発表プログラム



土木学会西部支部沖縄会

会場案内



琉球大学西原口を入り、構内の信号を左に曲がり、左手すぐ。

○ 土木学会継続教育（CPD），CPDS 認定プログラム

発表プログラム

2014年10月30日

Time Table

Start	End	プログラム	
8:30	9:00	受付・CPD登録	
9:00	9:10	開会式 〈Room:A〉 開会の挨拶:尾澤 卓思(沖縄会会長・沖縄総合事務局次長) 実施要項の説明:新垣 哲(沖縄会幹事長・沖縄総合事務局)	
9:10	9:20	Break	
9:20	10:50	Session 1 〈Room:A〉9編 (環境・計画関連) 座長:琉球大学 神谷 大介	Session 2 〈Room:B〉9編 (地盤・地下構造関連) 座長:(株)南伸 久米 仁司
10:50	11:00	Break	
11:00	12:30	Session 3 〈Room:A〉9編 (腐食・耐荷力) 座長:沖縄総合事務局 高井嘉親	Session 4 〈Room:B〉9編 (材料劣化,維持管理) 座長:琉球大学 富山 潤
12:30	13:00	Lunch	
13:00	14:30	Session 5 〈Room:A〉9編 (振動・耐風・計測) 座長:琉球大学 藍壇 オメル	Session 6 〈Room:B〉9編 (腐食・防食) 座長:沖縄県 徳田 勲
14:30	14:40	Break	
14:40	16:20	特別講演会 〈Room:A〉 「インフラの挙動を捉える最先端ICT計測技術」 座長:琉球大学 下里 哲弘	
16:20	16:30	Break	
16:30	16:45	閉会式 〈Room:A〉 優秀発表者賞の表彰:尾澤 卓思(沖縄会会長・沖縄総合事務局次長) 閉会の挨拶:徳田 勲(沖縄会副幹事長・沖縄県)	

特別講演会 (Room-A 14:40~16:20)

「インフラの挙動を捉える最先端ICT計測技術」

【プログラム】

講演者 1:琉球大学 教授 藍壇オメル【30分】

「多重パラメータ動態観測モニタリングシステムの開発とその適用例について」

講演者 2:東京工業大学 准教授 佐々木栄一【30分】

「ワイアレスセンサによる橋梁の遠隔センシングシステムの構築」

講演者 3:株式会社 TTES 社長 菅沼久忠【30分】

「最新技術で実現した揚炭栈橋の計測」

Presentation Schedule

Titles and Authors

○発表時間：7分、質疑応答：3分

○概要集：2頁～6頁（原則、偶数頁）

○注意事項

- ・発表者は、各発表セッション開始前に発表パワーポイントを会場パソコンにインストールし、動作状態を確認すること。
- ・発表者および聴講者は、土木学会西部支部沖縄会の会員登録をしてください。なお、土木学会正規会員または学生は登録の必要はありません。

・10月30日（木曜日）

Time	Room A
9:20 ↓ 10:50	<p>Session1：環境・計画関連 座長：神谷 大介（琉球大学）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都心商業地域での路上駐車のアイドリング行動に関する調査研究 北海学園大学 堂柿栄輔, 東海大学 梶田佳孝 2. 地域観光政策と地域主導型観光に関する基礎的研究 ー沖縄県北部地域の観光ガイドブック作成事業を事例としてー 名桜大学 孫迎迎, 大谷健太郎 3. 竹富南航路の整備における環境配慮の取組について 石垣港湾事務所 久場良也 4. 那覇空港滑走路増設事業における貴重藻類の移植について 沖縄総合事務局開発建設部 宇江城菜乃, 照屋雅彦, 鈴木真也 5. 金武ダムで起きた水質異常について 沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所 照屋淳, 新城晴伸 6. 防災ワークショップの効果に関する一考察 ー国頭村与那区を対象としてー 琉球大学大学院 中山貴喜, 神谷大介, 中央建設コンサルタント 山中亮, 山口大学大学院 長曾我部まどか, 榊原弘之, 中央建設コンサルタント 宮国敏秋 7. 沖縄本島河川の自然再生計画策定における目標設定ため現状分析 琉球大学 辻本真希, 神谷大介, 山口大学 赤松良久, 沖縄県環境科学センター 宮良工 8. 浸水深を考慮した害時避難の危険度に関する分析 琉球大学 峰翔太, 神谷大介, 山口大学 赤松良久, 東京理科大学 大槻順明, 二瓶泰雄 9. 沖縄 I T 津梁パークにおける景観形成について 沖縄県 呉屋則行
	<p>Room B Session2：地盤・地下構造関連 座長：久米 仁司（嶺南伸）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ロックアンカー・ロックボルトの非破壊試験法の開発 琉球大学 新城達也, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 富山潤 2. トンネル掘削における発破振動計測の試み 琉球大学 土屋憲一, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 富山潤 3. 歴史的石積み構造物に対する多重パラメータ動態計測システムとその中城城址への適用 琉球大学 福長友弥, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 富山潤 4. マッドベーストにおけるMud crack 生成パターンに関する実験的検討 琉球大学大学院 広瀬孝三郎, 松原仁, 原久夫 5. 島尻層群泥岩の微生物風化に関する一考察 琉球大学大学院 松寄史明, 琉球大学大学院 広瀬孝三郎, 琉球大学 松原仁, 原久夫 6. 圧密荷荷時間が圧縮指数に与える影響に関する実験的研究 琉球大学大学院 山路伸悟, 近藤慎吾, 玉城侑, 原久夫 7. 儀間ダムにおける横坑の閉塞処理 沖縄県土木建築部 小島健太郎 8. 港川高架橋下部工におけるスリムケーソン工法事例の紹介 沖縄総合事務局南部国道事務所 宮城智章, 那覇出 9. 北部国道事務所におけるヤンバルクイナロードキル対策について 沖縄総合事務局北部国道事務所 金城基樹, 仲松徳修

Time	Room A
	<p align="center">Session3：腐食・耐荷力 座長：高井 嘉親（沖縄総合事務局）</p> <ol style="list-style-type: none"> 高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力に関する研究 ～実橋から切出した試験片によるすべり試験(その1)～ 琉球大学 林田卓也, 下里哲弘, 有住康則, 宮地エンジニアリング(株) 山下修平 高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力に関する研究 ～実橋から切出した試験片によるすべり試験(その2)～ 宮地エンジニアリング(株) 山下修平, 琉球大学 下里哲弘, 有住康則, 林田卓也 沖縄地方において30年経過した耐候性鋼橋のスマートレトロフィット (SRF) MKエンジニアリング(株) 竹淵敏郎, 川田工業(株) 長坂康史, 木更津工業高等専門学校 田井政行, 琉球大学 下里哲弘, 沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所 内里清一郎, 与那覇忍 約30年間沖縄の環境下で暴露された耐候性橋梁における荷重載荷実験 川田工業(株) 長坂康史, 琉球大学 下里哲弘, MKエンジニアリング(株) 竹淵敏郎, 木更津工業高等専門学校 田井政行, 内閣府沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所 内里清一郎, 与那覇忍 実橋における高力ボルトの腐食減肉計測による残存軸力の推定 木更津工業高等専門学校 田井政行, 琉球大学 下里哲弘, 有住康則 実腐食減厚分布を有する鋼プレートガード腹板のせん断強度特性に関する研究 (一社)沖縄しまて協会 玉城喜章, 琉球大学 下里哲弘, 有住康則 腐食減肉した鋼管の残存圧縮耐力に関する解析的研究 琉球大学大学院 塚原雄介, 琉球大学 下里哲弘, 有住康則 塩害劣化RCT 桁の主桁耐荷力に対する壁高欄の有効性に関する実験研究 (株)中央建設コンサルタント 砂川章次, (株)ホープ設計 金田一男, (株)南伸 久米仁司, (有)総合設計コンサルタント 太田清志, 琉球大学 下里哲弘, (社)沖縄しまて協会 玉城喜章, 琉球大学 淵脇秀晃, (株)金秀鉄工 長嶺由智 RC円形橋脚の耐震性の寸法効果に関する検討 岐阜大学 木下幸治, 山本翔吾
11:00 ┆ 12:30	<p align="center">Room B</p> <p align="center">Session4：材料劣化，維持管理 座長：富山 潤（琉球大学）</p> <ol style="list-style-type: none"> 表面研磨法によるフライアッシュコンクリートの含有塩分量調査方法の提案 (一財)沖縄県建設技術センター 下地建, アール・アンド・エー 風間洋 コンクリートブリズム (CPT) を用いたASR 加速試験の遅延膨張性ASRへの 適応性に関する研究 琉球大学 亀川裕也, 琉球大学 藍檀オメル, 富山潤, 琉球セメント(株) 山口順圭, 屋我晃, 神谷和志, 上里尚也 コンクリート橋上部工の付着塩分量に関する調査および塩害環境評価法に関する基礎研究 琉球大学 外間賢伍, 松浦葵, 藍檀オメル, 富山潤 ASR劣化したプレテンションPC桁橋の調査および損傷理論を導入した ボクセルFEMを用いた膨張予測の基礎検討 琉球大学大学院 松浦葵, 藍檀オメル, 富山潤, (株)大富建設コンサルタント 迫田泰治, 九州大学 浅井光輝 塩害により損傷を受けた鉄筋コンクリート桁の載荷試験 (その1) 琉球大学 辻翔平, 下里哲弘, 有住康則, 本田博幸 塩害により損傷を受けた鉄筋コンクリート桁の載荷試験 (その2) 琉球大学大学院 本田博幸, 下里哲弘, 有住康則, 辻翔平 北部国道管内の道路ストック総点検について 沖縄総合事務局北部国道事務所 宮城福太郎, 比嘉真孝 臨港道路(浦添線)の整備について 那覇港湾・空港整備事務所 田中克彦, 吉平健治 自然環境に配慮した新たな沖縄型の海岸整備について (嘉陽海岸高潮対策事業) 沖縄県土木建築部 又吉康之

Time	Room A
	<p align="center">Session5：振動・耐風・計測 座長：藍檀 オメル（琉球大学）</p> <ol style="list-style-type: none"> 伊良部大橋主航路部における耐久性向上と耐風安定性確保を目指した取組み 沖縄県企業局 山城明統, 沖縄県宮古土木事務所 奥間正博 道路照明柱の台風応答計測 琉球大学 松村恭寛, 下里哲弘, 有住康則 亜熱帯環境下における火力発電所揚炭棧橋鋼管構造の診断モニタリング手法の開発研究 株式会社TTES 勝山真規, 琉球大学 下里哲弘, 電源開発(株) 鷲尾朝昭, 今岡知武, (株)TTES 菅沼久忠 コンクリート梁の振動特性に関する基礎研究 琉球大学 平田淳貴, 吉次優祐, 琉球大学大学院 松浦葵, 琉球大学 藍檀オメル, 富山潤 塩害劣化したコンクリート橋梁の震動特性評価に関する基礎研究 琉球大学 吉次優祐, 松浦 葵, 平田淳貴, 松川博宣, 富山潤 ,藍檀オメル, 渡嘉敷直彦 モノレール駅の振動特性に関する基礎研究 琉球大学 松川博宣, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 富山潤 可動式渦流探傷プローブによる腐食鋼板残存板厚分布の評価 東京工業大学大学院 田村洋, 東京工業大学 富永理史, 東京工業大学大学院 佐々木栄一, 峰沢ジョージヴルベ レーザー計測による実腐食鋼板の腐食形状と腐食深さに関する考察 琉球大学 園田政和, 下里哲弘, 有住康則 川田工業(株) 長坂康史 三次元画像・計測による沈埋トンネルの維持管理 首都高技術株式会社 日和裕介
13:00 ┆ 14:30	<p align="center">Room B</p> <p align="center">Session6：腐食・防食 座長：徳田 勲（沖縄県）</p> <ol style="list-style-type: none"> 3Dデータを適用した耐候性鋼材の外観評価用さびサンプルの試作 一般社団法人日本橋梁建設協会 阿部浩志, 岩川貴志, 志賀弘明, 鈴木克弥 腐食面に対するSmart ZIC工法の防食性に関する実験的研究 琉球大学 水尻宗孝, 下里哲弘, 有住康則, (株)横河ブリッジ 井口進, 清川昇悟, 東京ファブリック工業(株) 木村雅昭 Smart ZIC工法による高力ボルト継手部の防食性向上(その1:防食性能の検討) (株)横河ブリッジホールディングス 井口進, 春日俊博, (株)横河ブリッジ 清川昇悟, 中東剛彦, 東京ファブリック工業(株) 木村雅昭, 橋都瑞城, 琉球大学 下里哲弘 Smart ZIC工法による高力ボルト継手部の防食性向上(その2:継手性能の検討) (株)横河ブリッジ 清川昇悟, (株)横河ブリッジ 中東剛彦, (株)横河ブリッジホールディングス 井口進, 春日俊博, 東京ファブリック工業(株) 木村雅昭, 橋都瑞城, 琉球大学 下里哲弘 耐候性鋼橋梁の部分補修塗装における端部処理方法に関する検討 日鉄住金防蝕(株) 今井篤実, 佐野 大樹, 山口大学大学院 麻生 稔彦, セントラルコンサルタント 空谷 謙吾 補修塗装された鋼橋の腐食状態 琉球大学 宇座徳人, 琉球大学 下里哲弘, 有住康則, 淵脇秀晃 約30年暴露された無塗装仕様耐候性鋼橋の腐食状況 琉球大学 淵脇秀晃, 下里哲弘, 有住康則, 本田博幸 ポリイミド材料を用いた鋼橋防食方法に関する検討 宇部興産機械(株) 川内康寛, 後藤悟史, 宇部興産(株) 寺田武史 橋梁用高機能外装板の防食性能と設計風荷重 新日鉄住金エンジニアリング(株) 藤川敬人, 立花周作

『橋の日』イベント

実施報告書

平成26年8月

主催：土木学会西部支部沖縄会

1. 「橋の日」活動の概要

8月4日は「橋の日」として、私たちの生活と文化に密接なかかわりを持つ橋に感謝を込めて、橋の清掃活動を行っている。本活動は現在、全国32都道府県にまで広がり、沖縄県では平成23年度以降連続開催し今年4回目を実施するものである。

2. 「橋の日」活動の目的

- ・橋に感謝し、橋の歴史や構造を学ぶ。
- ・橋に感謝し、橋とのふれあいの日にする。
- ・橋に感謝し、橋を大事にする心を育む。

3. 主催等

主催：土木学会西部支部沖縄会

4. 共催（参加協力）

- ：琉球大学工学部環境建設工学科土木コース（学生）
- ：琉球大学土木同窓会
- ：沖縄県土木建築部
- ：沖縄県土木建築部南部土木事務所
- ：内閣府沖縄総合事務局開発建設部

5. 活動内容

日付：平成26年8月6日（水）

時間：午前10時～12時

場所：那覇大橋

集合：那覇大橋仮設橋

内容：那覇大橋及び周辺の清掃

参加者：那覇市 垣花児童クラブ

琉球大学工学部環境建設工学科土木コース学生

琉球大学土木工学科・環境建設工学科土木同窓会

内閣府沖縄総合事務局開発建設部

沖縄県土木建築部

沖縄県土木建築部南部土木事務所

6. 参加者

- ・那覇市 垣花児童クラブ
- ・琉球大学
- ・沖縄県土木建築部
- ・沖縄県土木建築部南部土木事務所
- ・琉球大学土木工学科・環境建設工学科土木同窓会
- ・沖縄総合事務局開発建設部

7. 当日のスケジュール

時刻	内容	留意点
9:45	那覇市 那覇大橋仮設橋	駐車場は那覇大橋仮設橋の上 位置図参照
10:00	開会式	司会：新垣課長（幹事長）
	開会あいさつ	尾澤会長（沖縄総合事務局）
	道路管理者（事業者）あいさつ	県道路街路課 仲嶺班長（課長代理）
10:15	那覇大橋概要説明 質疑応答	琉球大学学生
10:35	作業説明	沖縄会事務局（県技術管理課）
10:40	清掃 歩道部の清掃 橋名版を磨く 高欄のレリーフを磨く その他キレイになること	・ 道具は、事前に貸与 ・ ごみ袋は透明なものを使用 ・ ごみは、維持管理者が回収 （仮設橋横の築島部に集積） 位置図参照
11:05	作業終了	仮設橋上に集合、飲み物を配る。
11:10	垣花児童クラブ 児童代表挨拶	感想など
11:15	閉会あいさつ	琉球大学土木同窓会長
11:20	記念撮影	仮設橋上
11:30	昼食	与那原家Ⅱで昼食をとる。 琉球大学学生分

※挨拶、説明等の場所は那覇大橋仮設橋上とする。

8. 実施にあたっての役割分担等

(1) 費用負担

- ・ 土木学会西部支部沖縄会：昼食代
- ・ 保険（琉球大学の28名分、垣花児童クラブ40名）+α
- ・ 琉球大学土木同窓会：Tシャツ

(2) 役割分担

- ・ 実施計画書作成：土木学会沖縄会（県技術管理課）
- ・ 記者発表：県技術管理課
- ・ 弁当、保険の手続き：土木学会沖縄会（県技術管理課）
- ・ 飲み物（南部土木事務所・現場受注業者）
- ・ Tシャツ準備：琉球大学土木同窓会
- ・ マイク：南部土木事務所
- ・ 当日使用する道具：(3)に記載
- ・ 参加者募集等：各組織
- ・ 当日の司会：新垣課長（幹事長）
- ・ 当日の監督係：琉大同窓会
- ・ 道路管理者への許可：南部土木事務所
- ・ ゴミ処分：南部土木事務所から維持管理者に依頼

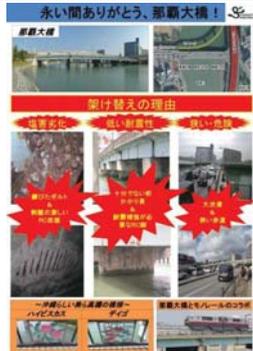
(3) 当日用意するもの

担当	道具	数量
琉球大学	・ 帚、塵トリ、雑巾、軍手 ・ 帽子、タオル、飲み物は各自	人数に応じて適宜
沖縄県南部土木事務所	・ 軍手、ごみ袋、ゴミバサミ、 クーラーボックス ・ 帽子、タオル、飲み物は各自	人数に応じて適宜
同窓会事務局	・ バケツ8個、ごみ袋、雑巾 ・ 帽子、タオル、飲み物は各自	人数に応じて適宜

9. 作業風景

(1) 開会あいさつ、ならびに那覇大橋についての紹介。

- ・司会を新垣幹事長が行い、開会のあいさつとして、尾澤会長による「橋の日」活動の目的および概要説明が行われました。
- ・道路管理者あいさつとして、県道路街路課上原課長からの代理として仲峯班長様あいさつを頂きました。
- ・「橋の日」の活動目的でもある『橋に感謝し、橋の歴史や構造を学ぶ』ため、琉球大学工学部環境建設工学科土木コースの学生が説明を行いました。



(2) 作業風景



今回はゴミ拾いと手すりなどの拭き掃除をメインに行いました。多くの方に参加していただけたため、短時間で効率よく作業を行いました。

(3) 閉会のあいさつ

閉会のあいさつとして、琉球大学土木同窓会長、ならびに児童代表からあいさつを頂きました。



(4) 記念撮影



清掃終了後、全員で記念撮影を行いました。



2014 第19回 シンポジウム

観光客1000万人到来にむけて
～それを支える社会基盤～

平成26年11月19日

場所：パレット市民劇場 司会/崎山一葉

- ◆ 開会挨拶 2
矢吹 哲哉 沖縄の土木技術を世界に発信する会委員長
- ◆ 来賓挨拶 3
上原 良幸 (一財) 沖縄観光コンベンションビューロー会長
- ◆ 基調講演 6
観光客1000万人時代のインフラ整備を考える
尾澤 卓思 内閣府沖縄総合事務局 次長
- ◆ シンポジウムスナップ 19
- ◆ テーマ講演会 20
- 「観光客1000万人到来にむけて」
座長/大城 郁寛 琉球大学法文学部教授
講演者/金良多恵子 沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策統括監
大城 健 沖縄県農林水産部 農業振興統括監
東 良和 (一社) 日本旅行業協会理事兼沖縄支部長 (OTS会長)
花井 正光 特定非営利活動法人 沖縄エコツーリズム推進協議会会長
- ◆ 座長・講演者プロフィール 47
- ◆ 「沖縄の土木技術を世界に発信する会」
シンポジウム一覧・編集後記 48

◆ シンポジウムスナップ



土木学会西部支部沖縄会技術委員会 平成26年度小委員会活動報告

小委員会名	橋梁長寿命化技術小委員会	委員長	下里 哲弘	幹事長	玉城 喜章
活動予定期間	平成23年12月～平成27年3月(小委員会活動終了)				
活動目的	<p>本小委員会では、塩害環境下にある沖縄の橋梁に対する適切な維持管理技術の確立を目的に、塩害劣化などの損傷事例、原因、および補修補強法に関する事例集をまとめ、橋梁長寿命化技術の発展に貢献することを目的とする(テーマ1、2)。また、劣化橋の残存耐力および耐久性を実験・解析的に調べることで、通行規制の判断資料を提供し、また、補修補強後の劣化橋に対する回復度および耐久性を実験・解析的に調べ、今後の維持管理へ反映させることを目的とする(テーマ3)。さらに、塩害劣化などに強い材料、構造形式、維持管理手法などの技術資料を収集し、今後の新設橋や既設橋への技術資料を提供することを目的とする(テーマ4)。</p>				
委員構成 (26名)	<p>◎下里 哲弘(琉球大)、○玉城 喜章(沖縄しまたて協会)、○押川 渡(琉球大)、富山 潤(琉球大) 川間 重一(沖縄総合事務局、奥儀 克明(沖縄県)、砂川 勇二(沖縄県)、金田 一男(榊ホープ設計) 砂川 章次(榊中央建設コンサルタント)、野里 貴哉(榊基土木)、稲福 英三(金秀鉄工(株)) 淵脇 秀晃(琉球大)、目取眞 正樹(沖縄総合事務局)、下地 建((一財)沖縄県建設技術センター) 我謝 将人(沖縄県)、谷口 祐治(西日本高速道路(株)沖縄管理事務所)、久米 仁司(榊南伸) 宮城 敏明(榊沖縄建設技研)、石川 孝司(榊大洋土木コンサルタント)、金城 和成(榊ホープ設計) 太田 清志(榊総合設計コンサルタント)、仲宗根 基(榊基土木)、長嶺 由智(金秀鉄工(株)) 崎濱 秀治(芝岩エンジニアリング)、赤嶺 文繁(PC建設業協会)、村島 康文(日本橋梁建設協会)</p>				
活動報告	<p>1. 査読論文 1件 下里、金田、砂川、淵脇、久米、太田、玉城、長嶺:塩害により著しく劣化した RCT 桁の劣化度と残存耐力、構造工学論文集 Vol.60A(2014年3月)</p> <p>2. 成果発表 1. 平成26年技術士会発表会:2014年11月26日(水) 1件 塩害により劣化した RCT 桁の劣化度調査および荷重試験:金田、玉城、久米、宮城、下里ら 2. 第4回土木学会西部支部沖縄会:2015年3月7日(土) 1件 塩害劣化 RCT 桁の主桁耐荷力に対する壁高欄の有効性に関する実験研究:砂川、金田、久米ら 3. 第3回 技術研究発表会:2013年10月1日(土木学会西部支部沖縄会) 5件 1)沖縄地域における腐食速度特性に関する調査研究～橋梁長寿命化小委員会 WG1:淵脇、下里、玉城 2)沖縄県内におけるRC橋の塩害劣化損傷事例～橋梁長寿命化小委員会 WG2:砂川、下地 など 4. 第2回 技術研究発表会:2012年9月25日(土木学会西部支部沖縄会) 2件 1)塩害により著しく劣化した実橋から撤去された RCT 桁の詳細調査(その1 外観損傷調査):金城、宮城らなど</p>				
今後の活動計画と目標	<p>○成果報告書の作成 1. 目次(案) 第1章 腐食環境調査方法の手引き ・県内でこれまで調査してきた結果から塩害マップや腐食速度の研究結果をまとめる。・腐食環境調査法の整理 例)ガーゼ法:枠の作成、設置位置、滴定方法等 第2章 損傷事例 ・技術研究発表会の原稿や全国大会年次講演会の原稿をまとめる。(塩害劣化橋梁) 第3章 安全性照査事例 ・若松橋、漢那橋の非破壊検査、残存耐荷力試験結果のまとめ ・辺野喜橋の腐食減厚特性や残存耐荷力試験結果のまとめ⇒玉城幹事長 ・鋼橋における腐食損傷した腹板の補強実験結果のまとめ⇒琉球大学研究結果 第4章 新技術 ・技術紹介 ①県内事例:伊良部大橋 ②県外事例</p> <p>2. 完成時期 : 8月末</p>				

平成26年度収支決算書(案)

(単位:円)

収支科目	平成26年度 予算額 (a)	平成26年度 決算額 (b)	差異(a)-(b)	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(310,000)	(265,000)	45,000	
①法人	310,000	265,000	45,000	5000円*(62社→53社)
(2)ランチ支援金	(120,000)	(150,000)	△ 30,000	
①ランチ支援金	120,000	150,000	△ 30,000	西部支部交付(世界に発信会へ)
(3)事業収入	(70,000)	(58,000)	12,000	
①行事収入	70,000	58,000	12,000	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	70,000	56,000	14,000	講習会等(2回)
①-4研究調査発表会収入	0	2,000	△ 2,000	
(4)雑収入	(0)	(73)	△ 73	
①受取利息・配当金	0	73	△ 73	銀行利子
(5)繰入金収入			0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(500,000)	(473,073)	26,927	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	(783,000)	(635,527)	147,473	
①講習会費	350,000	356,466	△ 6,466	講習会等(2回)
②研究発表会費	98,000	62,752	35,248	
③広報費	155,000	179,941	△ 24,941	橋の日・土木の日
④現場見学会費	105,000	0	105,000	
⑤その他、総会	75,000	36,368	38,632	
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(35,000)	(18,434)	16,566	HP管理費、切手、郵送費等
(3)繰越金支出	(0)	(0)	0	
①特別会計繰越支出				
事業活動支出計(B)	(818,000)	(653,961)	164,039	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 318,000	△ 180,888	△ 137,112	
II.投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
(1)特定貯金取崩収入	(0)	(0)		
①支部運営積立貯金取崩収入				
投資活動収入計(D)	(0)	(0)		
2.投資活動支出	(0)	(0)		
(1)固定資産取得支出	0	0		
(2)特定貯金支出	(0)	(0)		
①支部運営積立貯金支出	0	0		
投資活動支出計(E)	0	0		
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0		
III.予備費支出(G)				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 318,000	△ 180,888	△ 137,112	
前期繰越収支差額(I)	535,223	535,223	0	
次期繰越収支差額(H)+(I)	217,223	354,335	△ 137,112	

平成26年度 監査報告書

平成26年度(一社)土木学会西部支部沖縄会の収入・支出及び財産につき関係諸帳簿及び、証拠書類を監査の結果、適正かつ正確に経理されていることを確認する。

平成27年 7月 7日

監査役 沖縄総合事務局開発建設部

企画調整官

高井 嘉親 

監査役 (一財)沖縄県建設技術センター理事長

仲村 守 

平成27年度 主要事業計画（案）

1. 土木学会西部支部沖縄会総会

(1) 企画内容等

年1回総会を開催する。

(2) 開催日時

平成27年7月15日

2. 講演会の開催

(1) 企画内容等

講演会を1回程度開催する。

テーマ：伊良部大橋橋梁整備事業について（調整中）

(2) 開設時期

年内

3. 講習会等の開催

(1) 企画内容等

講習会（CPDS／CPD）等を開催する。

テーマ：橋梁長寿命化技術小委員会 報告

(2) 開設時期

随時

4. 技術研究発表会等

(1) 企画内容等

大学の研究以外にも、主要発注機関、コンサルタント等から発表論文を募集し、年に1回開催する。

(2) 開催日時

平成27年10月下旬

(3) 開催場所

西原町 琉球大学

5. 広報活動

(1) 土木の日シンポジウム

・土木の日（11月18日）にあわせ、土木工学に係るシンポジウムを開催。

・開催日時：平成27年11月18日

・開催場所：那覇市 パレット市民劇場

(2) 橋の日イベント

・橋の日（8月4日）にあわせ、県内橋梁の歴史調査、清掃などを行う。

・開催日時：平成27年8月12日

・開催概要：真玉橋（県道17号線）にて開催。別紙参照

(3) その他

6. ホームページの管理・運営

(1) 企画内容等

各種情報提供、情報交換、広報等に活用。

(2) 開設時期

通年

7. 現場見学会等

(1) 企画内容等

土木に親しみを持ってもらうために、国、県の大規模工事の現場で現地見学を実施する。親子での参加、又は学生（工業高校、大学生）を対象。

(2) 開催日時

平成27年7月～9月

(3) 開催場所

国道331号 糸満高架橋（調整中）

8. 情報発信の強化

技術情報発信の強化

これまでに県内で実施された土木技術（環境保全対策技術含む）について、土木工事への活用及びインフラ整備のPRのため、効果的な情報発信の検討を行う。

9. 土木技術者の確保・育成について

（仮称）土木技術者の確保・育成WGを幹事会に設置し、幹事会コアメンバーによる、土木技術者の確保・人材育成のための効果的な活動内容の検討を進めるとともに、今年度は、ケーススタディとして実施可能な取組を進める。

10. 事業実施の手続きについて

橋の日

実施日: H27. 8. 12(水) 10:00~12:00
橋梁名: 真玉橋
管理者: 沖縄県
参加者: 真玉橋学童クラブ(今後調整)
(高学年の兄弟及び親子の参加を働きかけ)
琉球大学学生及び同窓会、沖総局、県



実施行程

- 集合: 真玉橋公民館
- ・琉大生による講座(真玉橋の歴史(石橋(遺跡)))
模型でアーチ効果の体験
 - ・測建協による講座(県内橋梁写真パネル・模型)
 - ・その他、沖建協等による沖縄会加盟の各種団体による講座を検討
 - ・橋の清掃
 - ・記念撮影
 - ・橋のふしぎ探し(案)
- 解散: 真玉橋公民館



土木学会 沖縄会 技術情報発信の取組

[I] データベースの構築 (沖縄発の技術体系の初構築)

- 技術情報の内容(沖縄会会員組織、沖縄会委員会の取り組み)
 - ・沖縄において開発された技術情報(沖縄会会員組織)
 - ・現在取り組んでいる技術課題への取り組み(沖縄会会員組織)
 - ・世界・日本・沖縄初の構造物(CSG、伊良部高架、南風原高架橋、またきな大橋、地下ダム・・・etc)
 - ・環境保全対策技術の取り組み(道路、ダム、港湾、官庁営繕、農林水産)
- 技術体系の分類及びデータベースの階層化
 - ・技術情報を体系的に分類し技術名を一覧表示
 - ・個々の技術の紹介(特徴、内容、効果等を統一様式に整理)
 - ・個々の技術に関する論文、状況写真、活用事例等詳細情報

[II] 沖縄会研究発表会論文の再分類

- 現在年度別に分類しているが、分野毎に分類しなおした一覧表・リンクをHPに追加構築する

[III] 委員会資料の整理

- 津梁(沖縄の土木技術を世界に発信する会主催講演録)を沖縄会HPに掲示(又はリンク)

[IV] 情報発信方法 (見える化)

- [I]で構築したデータベース(体系化、階層化)を沖縄会HP上に構築

土木学会西部支部沖縄会 幹事会 人材確保関係 WG

WG 名	(仮)土木技術者の確保・育成 WG	WG 長	琉球大学 神谷 大介	幹 事 長	(一財)沖縄県建設技術センター 徳原 兼二
活動予定期間	平成 27 年 4 月 ～ 平成 30 年 3 月				
活動目的	<p>沖縄県内における土木技術者の人材不足に鑑み、短期的・中長期的な人材育成・確保が必要である。このため、短期的には人材確保のための活動、中長期的には土木に興味・関心を持つ児童・生徒を増加させるための取り組みを行い、上記課題の解決に資することを目的とする。</p>				
メンバー構成 (案)	<p>(一社)沖縄県建設業協会：喜屋武理事 (一社)沖縄県測量設計コンサルタンツ協会：神村専務理事 琉球大学：神谷 WG 長、下里准教授、富山准教授 沖縄総合事務局：技術管理官、技術管理課長 沖縄県：技術・建設業課長 (一社)沖縄しまたて協会：友寄部長 NEXCO 西日本：兼重課長 (一財)沖縄県建設技術センター：試験研究部長 (株)沖縄建設新聞：〇〇〇(調整中)</p>				
想定される活動内容	<p>① 既存活動の整理：県内の実施例や県外の活動事例収集(土木学会教育企画・人材育成委員会関係) ② 琉球大学工学部環境建設工学科 土木コース学生向けの活動(講演会・現場見学会等) ③ 県内工業高校土木コース学生向けの活動(講演会・現場見学会等) ④ 県内普通高校学生向けの活動(キャリア教育、社会科教育との連携等) ⑤ 県内小・中学生向けの活動(キャリア教育との連携、生活・総合教育との連携等)</p>				
年次計画	<p>平成 27 年度：情報収集・分析・2年目の実施計画作成 平成 28 年度：活動実施・評価・3年目の実施計画作成 平成 29 年度：活動実験・評価・次期3年の実施計画作成</p>				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に活動を総括し、報告書を取りまとめる。 ・必要に応じ、幹事会で共有し、総会に報告する。 ・市町村代表として、那覇市にオブザーバー参加を要請する。(調整中) ・沖縄県教育庁および沖縄県総合教育センターと連携を図る。 				

平成27年度予算書(案)
一 般 会 計

【第2号議案】-②

(単位:円)

収支科目	平成27年度 予算額(a)	平成26年度 予算額(当初)(b)	差異(a)-(b)	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(310,000)	(310,000)	0	
①法人	310,000	310,000	0	5000円 * 62社
(2)ランチ支援金	(120,000)	(120,000)	0	
①ランチ支援金	120,000	120,000	0	支部交付金(発信する会へ)
(3)事業収入	(70,000)	(70,000)	0	
①行事収入	70,000	70,000	0	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	70,000	70,000	0	
①-4研究調査発表会収入	0	0	0	
(4)雑収入	(0)	(0)	0	
①受取利息・配当金	0	0	0	
(5)繰入金収入	(0)	(0)	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(500,000)	(500,000)	0	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	(513,000)	(783,000)	△ 270,000	
①講習会費	160,000	350,000	△ 190,000	講演会、講習会
②研究発表会費	58,000	98,000	△ 40,000	
③広報費	155,000	155,000	0	橋の日・土木の日
④現場見学会費	65,000	105,000	△ 40,000	糸満高架橋
⑤その他、総会	75,000	75,000	0	
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(35,000)	(35,000)	0	
(3)繰越金支出	(0)	(0)	0	
①特別会計繰越支出			0	
事業活動支出計(B)	(548,000)	(818,000)	△ 270,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 48,000	△ 318,000	270,000	
II.投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
(1)特定貯金取崩収入	(0)	(0)	0	
①支部運営積立貯金取崩収入			0	
投資活動収入計(D)	(0)	(0)	0	
2.投資活動支出				
(1)固定資産取得支出	0	0	0	
(2)特定貯金支出	(0)	(0)	0	
①支部運営積立貯金支出	0	0	0	
投資活動支出計(E)	0	0	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
III.予備費支出(G)				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 48,000	△ 318,000	270,000	
前期繰越収支差額(I)	354,335	535,223	△ 180,888	
次期繰越収支差額(H)+(I)	306,335	217,223	89,112	